

法人管理委員会よりお知らせ

法人管理委員会 久保俊仁

いつも会務にご協力くださいますようお願いいたします。

・令和4年新年互礼会中止について

令和4年新年互礼会について、新型コロナウイルス感染症
感染予防の観点より、開催を中止いたします。

皆様にはご迷惑をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします
ます。

・年会費引き落としについて

12月5日は、令和3年12月・令和4年1月会費の郵便自動引き落
とし日となっています。
口座資金についてご準備下さいますようよろしくお願いいたします。

(公的) 審査委員だよ Re : No. 15

民生労災委員長 森下輝弘

民生労災委員会では保険取扱での困難事例のデータ集積をしておりま
す。

現在や過去に、健保・生保・労災・自賠責等の保険での取り扱いを行
うにあたり、困難事例や障害などスムーズに取り扱えない事例がござい
ましたら、ホームページに「保険取扱 困難事例集積フォーム」を作成
いたしましたので、ご協力の程よろしくお願い致します。

記事内容再掲ですが、入力様式のリンクが変わっております。下をご
利用ください。



以上

研修委員会からのお知らせ (再掲載)

研修委員長 荒木善行

1. NGK システム (新学術単位管理システム) への情報移行について
「旧学術研修単位管理システム (GK システム)」は、システム維持費
や利便性などの問題から、2020 年 12 月末をめどに新システム (NGK)
に変更され、併せて「学術単位閲覧システム」も使用できなくなりました。
大阪府鍼灸師会では、移行前から試験的に導入し、現在、新システム
の運用を開始しております。そこで、研修委員会では、会員各位の GK カ
ード情報を引継ぎ、取得単位 (大鍼会・日鍼会関連) を一元管理しており
ます。さらに、各個人での取得単位閲覧 (単位取得状況の確認) も WEB
上で可能となりましたので、大鍼会会員すべてを単位加算希望者として
日本鍼灸師会の NELS 事務局に申請させて頂きたく存じます。
今回の NGK システム移行に伴い、取得単位閲覧 (単位加算希望者) を
希望されない方は、下記の用紙にて FAX またはメールにてお知らせ下
さい。また、旧 GK カードで登録されていたメールアドレスが使用されて
いない場合は、NELS 事務局からのご案内が届きませんので、現在使用
されているメールアドレスをお知らせ頂きますようお願い申し上げます
なお、今回移行する情報につきましては、学術単位管理以外の目的で
使用することはございませんで、ご理解のほど宜しくお願い申し上げま
す。

☐ 単位加算希望をしない (✓を入れて下さい)	☐ メールアドレスの変更 (✓を入れて下さい) 新メールアドレス
氏名:	
地域:	

上記様式を満たして送付してください
F A X 06-6351-4855
E-MAIL study@osaka-hari9.jp

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
令和3年度 第5回理事会 議事メモ

(出欠確認)	
理 事	15 名
出席数	15 名
欠席数	0 名
監 事	2 名
出席数	2 名
欠席数	0 名

1. 日 時 令和3年9月19日 (日) 10時00分～
2. 場 所 大阪府鍼灸師会館4階
3. 司 会 理 事 久保 俊仁
4. 議 長 会 長 得本 誠
5. 議事録作成 理 事 廣橋久美子
出席理事: 得本誠 富永礼子 南治成 堀口正剛 久保俊仁 北川肇
荒木善行 柴山忠宏 永澤至子 吉村春生 (web) 森下輝弘
三宅なつえ 喜多伸治 丹波徹二 廣橋久美子 (順不同)
出席監事: 浅井和俊 浜田暁 (web)
欠 席: 清藤直人

- (次第)
I. 開会の辞 理 事 久保 俊仁
II. 挨拶 会 長 得本 誠
III. 報 告 正副会長活動報告・日鍼会活動報告・委員会報告
得本会長より: 体調不安があり、南副会長に業務の会長代行をお願いし
たい。
南副会長より: 10/24-25 全国大会参加の呼びかけ
10/3 開催の『世界が注目する鍼灸 & 漢方』シンポジウム、
一般向けに SNS 発信拡散の呼びかけ。
富永副会長より: 正副会長会議に出席
堀口理事より: 8/22 日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会 Web 会議参加
8/28 日鍼会理事研修会、翌 8/29 理事会出席
9/16 会館移転の件で会長と不動産会社に交渉と挨拶に訪問
久保理事より: 法人管理委員会
9/29 近畿ブロック会議に行うにあたり、各師会コメント
を求められており、WMG
対応、若手鍼灸師入会促進策への取り組みを回答
堀口副会長を厚生労働大臣表彰に推薦を提出
昨年より推薦していた富永副会長の叙勲が決定 (11/3 内
示予定)
北川理事より: 財務委員
8/31 付の鍼灸師会現金・預金などの報告
永澤理事より: 地域ケア推進委員 特になし
喜多理事より: 情報化委員会
77 名の新規準会員入会者 (5 月～)
「いかなごう」日鍼会で把握していたメールアドレスを併
合し 200 ほど増え、540 部の発行、開封率は 50% となっ
ており良い広報媒体となっている。
丹波理事より: 7/26 大阪ハイテク、WMG の件で全面的に支援していた
だけであり講座編成や開催期間中対応の準備を進めている
8/4 日鍼会オリパラ応援会議に出席

Contents

M-1

- ・法人管理委員会からのお知らせ
- ・研修委員会からのお知らせ (再掲載)
- ・審査委員会だよ Re : No. 15
- ・会員動態
- ・理事会 議事メモ

M-2

- ・理事会 議事メモ

会員動態
(敬称略)

会員種別変更 (1 名)

宮本 舞	A→B
------	-----

退会届 (4 名)

堤 伸榮	吹田地域
渡邊慶四郎	豊中地域
平峰 浩二	高槻地域

従事する機会がなくなったため、高齢のため、高齢で体力が減少し
たため、など。

ご逝去

呉 育誠	高槻地域
------	------

8 月下旬 日本財団と大鍼会の幟・看板デザインを提出予定
9/9 WMG 実行委員会との対話 2022 年 5 月開催予定だがコロナの感染状況次第で中止・延期・限定開催の可能性あり
大阪府の実行委員会より医療救護専門部会委員より鍼灸師会に入会依頼あり受諾
今後の府内のスポーツイベントと大鍼会との繋がりを確保したい旨伝える
近畿ブロック研修資料として「心肺蘇生」「熱中症」について担当
森下理事より：民生労災委員会
7/8、8/7、9/6 月一度の生活保護審査会・相談会開催
7/ 8 民生労災委員会開催し、これまでと今後について精査
7/15-16、8/17-18、9/15-16 国保連合会審査会に出向
7/18 医療費適正強化特別講習会
7/27 医師より電話にて労災相談
8/18 高石市・9/2 枚方市国保の返戻への対応
申請欄・委任欄の代理記入・捺印、適応欄への理由記載について、市により認識が異なり、同様の返戻案件が今後もあると予測されるためその都度対応の予定
近畿ブロックオンライングループ、コミュニケーションツールとして Facebook 招待をしている。
三宅理事より：普及啓発委員会
7/7 池永先生（吹田地域代表）に「吹田みんなの健康展」開催内容についての問い合わせ連絡
Web にて令和 3 年 11/1 ～令和 4 年 3/31 開催、テーマ「ストレスの軽減」動画作成し提供予定。
7/11 スポーツ鍼灸プロジェクト委員会開催。ボランティア活動参加に向けての研修会内容、開催方法、日程等について協議。
7/16「河内長野ハーフマラソン」のボランティア募集について、河内長野市役所スポーツ振興課に連絡。規模縮小予定でボランティア募集は予定してなかったが、大鍼会からの参加希望をお願いし回答待ち。
7/18 茨木地域・松尾先生に「はらのむし」開催について問い合わせたところ今年は開催予定なし。
7/20 河北地域・松岡先生より「寝屋川ハーフマラソン」開催について 9 月の実行委員で決定待ちであったが、中止決定。
9/12 マラソンケアサポートボランティア受付開始
9/12WMG に向けての研修会 内容・講師・会場・講師料・参加資格について協議
荒木理事より：研修委員会
8/9、8/11、9/12 全国学術部長 Web 会議開催
開館修繕関連 8/10 をもち終了
広報活動のひとつとしての Twitter 導入を検討していたが中止、代わりに LINE オープンチャットを作成。各学校にポスター掲示し、新規登録者を募り講習会情報等を発信予定。
WMG 直前研修会についての費用、11/28 開催の研修会内容お知らせ
全鍼師会との共同周産期ケア講座ポスター作成完了し案内開始予定
柴山理事より：共済委員会
日鍼会賠償責任保険について、FP パートナーズ宮永さんと資料郵送作業と電話でのアポイントメント作業。
南副会長より：日鍼会地域ケア推進委員会では、東京都健康長寿健康センター研究所（都老研）の「介護予防運動指導員養成講座」をメイン事業としていたが、現在役割が終了し新規講座予定はなし。今後はフォローアップセミナーへと移行。
日本柔道整復師会と「機能訓練指導員協会」が発足。柔整師・鍼灸師が機能訓練指導員として活動する上での研修、行政への働きかけをする母体団体として日鍼会も参入。今後は協会と連携しながら、地域医療において機能訓練指導員としてどう活動するのか、医療連携を考える役割を担う部署として地域ケア推進委員の方向性が決定。
堀口理事より：丹波理事への質問。学生への動員要請について。
日本財団×大鍼会の幟・看板のデザインについての変更→廣橋作成

IV. 議 案
第 1 号議案 会員動態（得本）
得本会長：会員動態についての報告。
会員から協賛会員への移行についての組織委員長柴山理事への確認依頼。
退会届、準会員資格喪失、新規準会員人数の報告。

第 2 号議案 資産取得資金算定根拠の文章に追加補正を加え内容変更が必要になった件（久保・北川）
北川理事：組織の財務健全経営のため修繕費を一般会計でなく会館建設積立金より支払う予定であったが、事務局において会館修繕費 379 万 8000 円は取り急ぎ流動資産から立て替えて支払っていた。改めて会館建設積立金を取り崩し充当する。議案上程時と現場の事務局の動きとの相違があり、取り崩しに対し資産取得資金算定根拠の原文変更と金額の訂正が必要と考え今回議案として提出。
会館修繕費 379 万 8000 円の内額については杉本公認会計

士との最終確認ができていないため、修正の可能性あり。
修繕費について、金額訂正の可能性も踏まえ全会一致にて承認。

第 3 号議案 青年委員会委員選出について（清藤）
久保理事：清藤理事が近畿ブロック会議に参加のため代理で上程。
青年委員会委員選任についての報告。
全会一致で承認。

第 4 号議案 令和 3 年度生涯研修単位取得について（荒木）
荒木理事：7 月東洋療法研修試験財団より、令和 3 年度生涯研修単位取得特例として通常 2 5 単位終了→1 5 単位へと発出され、大鍼会の生涯研修制度でも準拠する。単位申請については GK→NGK システムの自動申請へと移行。特例を明記し、上位 2 0 名の副賞は規定通り行うことと併せ、変更内容をフレッシュにて会員への告知手配済み。
全会一致にて承認。

第 5 号議案 全日本鍼灸学会近畿支部集会協力の件（荒木）
荒木理事：昨年 11/23 近畿支部集会開催にあたり大鍼会が協力団体として承認された。
具体的な提案内容として、協力団体として昨年同様に抄録に協力団体として大鍼会の名前を記載、動員協力として大鍼会の正会員の学会参加費を会員価格とされたい。
2023 年全日本鍼灸学会学術集会（神戸）では近畿支部と近畿ブロックのより一層強い協力を求めたいので、来週の近畿ブロック会議で双方のメリットとなるこの提案をしたい。
全会一致にて承認。

第 6 号議案 NEC 施術ノート管理サービスに関する継続審議の件（荒木）
荒木理事：バージョンアップされた NEC 施術管理サービスについて、Zoom にて NEC 担当者より説明を受け、双方向に議論し建設的な意見交換を行いたい。
担 当 者：施術内容を可視化し地域包括ケアの参入準備のためにも電子カルテが必要である。ペーパーレスによるコストダウン、施術録の効率化、高セキュリティの 3 つメリットについて解説。また自費 / 保険施術共に対応しておりレセプト書類も作成可能。
荒木理事：導入件数がまだ多く見込めないが問題はありますか。
担 当 者：西洋医療においてもやっと導入が進んできている段階であるので、東洋療法の業界で導入の数が増やす時間がかかるということは覚悟しているので問題はない。ただ、独自環境の構築については数が増えないとできないのでその点についての開発は見送らざるを得ない。
森下理事：利用を始めたときには、これまでのような大鍼会による登録者や申請内容の閲覧や一括管理が可能なのかどうか。
担 当 者：代理請求をする業団向けの機能が必要と考え、既に保険者ごとの総括表データを集計する等の機能はすでに作っているが実行段階には至っていない。理由として各業団が求める機能の統一がなされていないので今後の調査が必要。
荒木理事：貴重な情報をありがとうございます。引き続き理事会で審議します。

第 7 号議案 日鍼会 賠償責任保険に関して（柴山）
柴山理事：中途加入の手続き、来年以降の保険料徴収、データ管理、安心保険の手続きについて確認したい。
堀口理事：東京海上日動の賠償保険料徴収については大鍼会→日鍼会へまとめて送金。
現在、大鍼会・日鍼会・連盟会費を徴収代行会社として保険協会へ委託している。
来年の更新に関しては、日鍼会の組織担当新名理事、東京海上担当者、代理店 FP パートナー宮永さんと交渉中。決定次第アナウンスがあります。
久保理事：会員よりアナウンスがないことへの不安の声がある。フレッシュ毎号に「日鍼会の会員については自動更新があり安心である」旨の内容を掲載すればよいのでは？
今後は日鍼会の流れを確認。

第 8 号議案 Wi-Fi 機器の更新について（喜多）
喜多理事：Wi-Fi の接続が悪いので新しい機会を購入し既に設置済み。事後となりますが報告いたします。
荒木理事：研修・講習会など、有料で実施するものについて安定した映像や音声確保をするためにも喜多理事に相談し早急に対応した次第。
更新してよかったと全会一致で承認。

第 9 号議案 その他の件
得本会長：会長代行選任について
体調不安があり、南副会長に業務の会長代行をお願いしたい。
全会一致で承認。
荒木理事：研修のアーカイブ化について
研修会の動画視聴を希望する声が上がっている。講師の著作権の問題、動画共有サービスによってはコンテンツの種類により配信制限などがある為、ルールに乗っ取ったコンテンツ作りを検討中。ご意見あればいただきたい。
久保理事：新年後互礼会は中止です。
次回理事会では予算案を計画し提出してください。

V. 閉会の辞 丹波徹二理事
オリ・パラでの経験、鍼灸師の活躍について会でまた共有できればと思っています。

以上